

地域未来構想20 オープンラボ ワークショップ（概要）

- 自治体・専門家で直接意見交換できるワークショップを実施。
- コーディネーターが間に入って意見交換を円滑にする仲介役を担う。
- 登壇する自治体の検討状況に応じて、2つの形式を用意。

ワークショップの流れ（イメージ）

日程：

第1回 6月16日（水）

第2回 6月23日（水）

時間（共通）：13:00-14:35
15:00-16:35

場所（共通）：ZOOM



形式A（地域課題が明確な自治体）		形式B（地域課題が明確でない自治体）	
時間	内容	時間	内容
5分	登壇者の自己紹介	5分	登壇者の自己紹介
10分	自治体の課題についての発表	30分	コーディネーター ×自治体の対談 ・自治体の表面化している課題について、対談形式で、自治体に対する質問や論点整理をしながら、課題の深掘りをし、課題の根幹を探る。
10分	コーディネーターより事業構想の説明		
60分	参加者を交えた意見交換 ・登壇者の地域課題やコーディネーターが紹介する事業構想などについて、参加者（専門家・自治体）からの質問や提案なども交えながら意見交換をすることで、地域課題へのアプローチ方法を探る。	50分	少人数(5人程度)での意見交換 ・コーディネーターが予め用意した議題などに沿って、登壇者も含む少人数で意見交換を行い、政策分野に関する自治体の課題やニーズ、官民連携事業を実施する際のポイントなどについて、参加者で理解を深める。 ※参加人数に応じて2グループに分割する場合があります。その場合は別途事前にコーディネーターと調整をいたします。
5分	まとめ	5分	まとめ

地域未来構想20 オープンラボ ワークショップ（形式別のイメージ）

■ 形式は、同じセッションで登壇する自治体の検討状況に応じて、形式Aまたは形式Bを予め選択。

形式A：地域課題が明確な自治体

参加者：15人程度（専門家・自治体）

【時間】20分程度

【登壇者】自治体・コーディネーター

【進行イメージ】

- ・ コーディネーターからは事業構想について、登壇自治体からは地域課題について発表。参加者は発表を視聴。



【時間】60分程度

【発言者】

自治体・参加者・コーディネーター

【進行イメージ】

- ・ 前半の発表を踏まえ、参加専門家を中心に、自治体のこれまでの取組や体制などに対する質問、課題や事業構想に資する事業提案などを共有してもらい、地域課題へのアプローチ方法について探る。
- ・ コーディネーターは、自治体の課題と専門家の提案内容がかみ合うよう、自治体が民間に求めていることや専門家が自治体に期待していることなどについても整理する。

【留意点】

専門家が自社サービスを一方的に説明する場とならないようにすること



形式B：地域課題が明確でない自治体

参加者：5～10人程度（専門家・自治体）

【時間】30分程度

【登壇者】自治体×コーディネーター

【進行イメージ】

- ・ コーディネーターから地域の現状や目指したい将来像等に関する質問を投げかけ、自治体の課題の深堀り・論点整理をする。参加者は2者の対談を視聴。



【時間】50分程度

【発言者】

自治体・参加者・コーディネーター

【進行イメージ】

- ・ 前半の課題の深堀りを踏まえ、参加自治体からは、地元に置き換えた場合の理解や登壇者に対する質問など、参加専門家からは、民間としての関与の仕方や課題に対する質問などを共有してもらい、理解を深める。
- ・ コーディネーターは、連携の形態や事業設計の進め方など、官民協働のポイントなどについても説明する。

【留意点】

特定の事業構想等に着地させるのではなく、参加者の疑問や悩みを引き出し、地域課題や官民連携に対する理解促進を図ることを意識した場とすること



※いずれの形式も、具体的な時間配分はコーディネーターと事務局でワークショップ前に調整